

☑ 解答

(1) **6回** (2) **3個**

📖 解説・ポイント

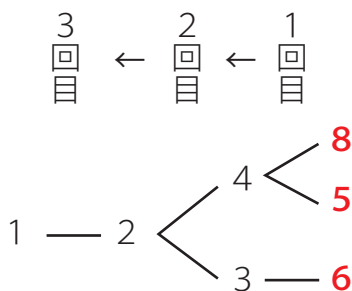
(1)

36は**偶数**なので、2で割り18、18は**偶数**なので、2で割り9、9は**奇数**なので、1を引き8、8は**偶数**なので、2で割り4、4は**偶数**なので、2で割り2、2は**偶数**なので、2で割り1となります。

よって、**6回**の操作で1になります。

(2)

「2で割る」の逆向きの操作は「**2をかける**」で、「1を引く」の逆向きの操作は「**1を足す**」なので、逆向きの操作を3回くり返すと、図のようになります。



1回目の操作で3になる整数は、4は**偶数**となるのでダメだよ!



よって、3回の操作で1になる整数は**5, 6, 8**の全部で**3個**になります。